

平成 26 年 2 月 8 日

関西広域連合本部事務局

## 関西ワールドマスターズゲームズ 2021 について

### 1. 開催目的

#### (1) 生涯スポーツの振興と元気で活力ある高齢社会の実現

- ・生涯スポーツの楽しさと重要性を世界に発信
- ・健康志向のライフスタイルを通じ、元気で活力ある高齢社会を実現

#### (2) スポーツツーリズムを通じた地域の活性化

- ・100ヶ国以上の方々に関西でスポーツツーリズムを満喫
- ・各地域の文化、観光資源の魅力発信などによる地域の活性化

#### (3) 「はなやか関西」の世界への発信

- ・関西の文化、観光、産業、環境など、関西の優れたコンテンツを発信

#### 〔関西WMG2021 の特色〕

- 国際マスターズ協会（IMGA）による、原則 30 歳以上の一般アスリートを対象とした生涯スポーツの国際総合競技大会。
- 出場資格は年齢のみ。予選なし、複数エントリー可、年代別に実施・表彰。
- 2021 年大会は第 10 回の記念大会、アジアでは初の開催。
- 10 日程度の大会期間と前後の観光滞在（市中の宿泊施設等を利用）。
- 5 万人超の参加を目標。過去最大規模の大会。  
(参考) 09 年 シドニー大会 (約 3 万人)、13 年 トリノ大会 (約 2 万人)

### 2. 関西開催の意義

#### (1) 生涯スポーツ先進地域としての関西

- ・関西における生涯スポーツの普及、定着。
- ・日本マスターズ陸上は和歌山県発祥。陸上と水泳からなる国際ゴールドマスターズ大会も、第 1 回、第 3 回大会を京都市で開催。
- ・関西をアジアにおける生涯スポーツのメッカとしてアピール。

#### (2) 東京オリンピック・パラリンピックの活力の関西への取り込み

- ・東京オリンピック・パラリンピックがもたらす活気や活力を東京一極に止めることなく、関西の活力向上につなげる。

#### (3) 健康・スポーツ関連産業の振興

- ・関西は、ナイキのアメリカ（オレゴン）、アディダス、プーマのドイツ（ヘルツォゲンアウラッハ）と並ぶ、世界 3 大スポーツ産業地域。
- ・中高年層を中心としたスポーツムーブメントにより、関西の産業を活性化。

#### (4) 関西のボランティアとおもてなし文化の発揮

- ・関西に根付くボランティアとおもてなしの心で、訪れる人々に質の高い、温かみのある大会を提供。

### 3. 開催決定の経緯

- ・平成 24 年 10 月 I M G A のカ イ ホ ル ム 会 長 から 井 戸 関 西 広 域 連 合 長 あ て の 書 簡 を 発 出。
- ・平成 25 年 4 月 25 日 広域連合委員会において、①7月末までに開催提案書草稿を提出すること、②8月のトリノ大会に視察団を派遣すること、等を内容とする返書の発出を合意。  
5月8日発出。
- ・平成 25 年 5 月 11 日 第 14 回 総 務 常 任 委 員 会 に お い て 本 部 事 務 局 よ り、① 2021 年 ワー ル ド マ ス ター ズ ゲー ム ズ の 関 西 招 致 に つ い て 検 討 を 進 め る こ と、② 8 月 に 開 催 さ れ る ト リ ノ 大 会 に 視 察 団 を 派 遣 す る こ と、を 報 告。
- ・平成 25 年 7 月 31 日  
～ 8 月 5 日 平井、門川両委員を団長とするトリノ大会視察団を派遣し、大会等の状況を調査するとともに、カ イ ホ ル ム 会 長 と 面 談。
- ・平成 25 年 8 月 9 日 第 15 回 総 務 常 任 委 員 会 に お い て 本 部 事 務 局 よ り、① I M G A に 開 催 提 案 書 草 稿 及 び 広 域 連 合 長 書 簡 を 提 出 し た こ と、② ト リ ノ 大 会 の 視 察 概 要、③ 関 西 版 マ ス ター ズ の 検 討、に つ い て 報 告。
- ・平成 25 年 8 月 29 日 広域連合委員会において、①関西広域連合として 2021 年大会の関西開催を目指すこと、②関西版マスターズ大会を創設すること、③官民連携の準備組織を立ち上げるこ と、を 合 意。
- ・平成 25 年 8 月 29 日 広域連合議会 8 月 定 例 会 に お い て 井 戸 連 合 長 よ り、同 日 に 開 催 さ れ た 連 合 委 員 会 で の 合 意 内 容 や、関 西 開 催 の 意 義 等 に つ い て 説 明。議 員 か ら、組 織 体 制 や 費 用 対 効 果、広 域 連 合 規 約 と の 関 係 等 に つ い て 質 問。
- ・平成 25 年 9 月 26 日 関 西 ワー ル ド マ ス ター ズ ゲー ム ズ 2021 準 備 委 員 会 設 立。  
第 1 回 準 備 委 員 会 開 催。  
開 催 申 し 入 れ 書 及 び 収 支 計 画 書 を I M G A へ 発 出。
- ・平成 25 年 11 月 6 日  
～ 13 日 I M G A に よ る 査 察 を 受 入 れ。
- ・平成 25 年 11 月 9 日 第 17 回 総 務 常 任 委 員 会 に お い て 本 部 事 務 局 よ り、こ れ ま で の 経 緯 や 当 面 の 取 組 に つ い て 説 明。議 員 よ り、広 域 連 合 と し て の 関 与 や 今 後 の 収 支 計 画、広 域 連 合 議 会 と の 関 係 等 に つ い て 意 見。

- ・平成 25 年 11 月 10 日 基本合意書調印。
- ・平成 25 年 11 月 21 日 広域連合議会 11 月臨時会において井戸連合長より、関西開催が正式に決定したことや、I M G A と基本合意書を締結したことを報告。議員から、組織委員会のあり方や広域連合としての関与、開催府県市の負担や東京オリンピック・パラリンピックとの連携、関西での生涯スポーツの普及促進等について質問。

#### 4. 関西ワールドマスターズゲームズ 2021 準備委員会の概要

##### (1) 組織

〔会 長〕 関西広域連合長 井戸 敏三

〔委 員〕 副広域連合長、9 府県市知事・市長、関西経済連合会会長、大阪・京都・神戸・堺各商工会議所会頭、関西経済同友会代表幹事、6 府県体育協会会長、  
学識経験者 2 名 (合計：25 名)

〔幹 事〕 各団体から選出

〔事務局〕 関西広域連合本部事務局に設置

##### (2) 主な取組

- ① 大会の開催に向けた方針や総合計画の検討
- ② I M G A や関係競技団体との連絡調整
- ③ 組織委員会の設立に関すること 等

##### (3) 活動状況

- 第 1 回準備委員会 (平成 25 年 9 月 26 日開催)
  - ・準備委員会の設立
  - ・準備委員会規約、開催申し入れ書、開催収支計画等について合意
- 第 2 回準備委員会 (平成 26 年 3 月 11 日開催予定)
  - ・開催競技・種別や組織委員会のあり方、開催地契約書の内容等について、幹事会での検討状況を報告
  - ・平成 26 年度の活動方針等について協議予定

##### (4) 今後の予定

平成 26 年 3 月 11 日	第 2 回準備委員会開催 (予定)
平成 26 年 4 月	専任事務局の設置
平成 26 年 7 月	第 3 回準備委員会開催 (予定)
平成 26 年 9 月	組織委員会に改組

## 5. IMG A と締結した基本合意書の概要

### (1) 調印式

日 付：平成 25 年 11 月 10 日（日）

会 場：西本願寺安穩殿（京都市内）

署名者：〔IMG A〕カイ ホルム会長、ロバート エルフィンストン理事  
〔準備委員会〕井戸敏三会長

### (2) 主な合意内容

- ① 関西地域を 2021 年ワールドマスターズゲームズの開催地として正式決定。
- ② 遅くとも 2014 年 9 月 30 日までに準備委員会を改組し、関西ワールドマスターズゲームズ 2021 組織委員会を設置。関西広域連合は、組織委員会を全面的に支援。
- ③ ワールドマスターズゲームズ開催地契約を 2014 年中に締結するよう、契約内容を協議。
- ④ IMG A への負担金は 500 万ユーロとする。

## 6. 事業費の概算

〔支出総額：28 億円程度〕※専任職員人件費を除く

- |              |   |
|--------------|---|
| ①大会開催準備費     | 15.5 億円程度                                   |
| 〔            |   |
| ・ IMG A 負担金  | 665 百万円（500 万ユーロ）                           |
| ・ マーケティング費   | 100 百万円<br>（海外での PR、国際大会視察 等）               |
| ・ 広告宣伝費      | 100 百万円                                     |
| ・ IMG A 理事会費 | 99 百万円                                      |
| ・ 事務局経費      | 586 百万円<br>（事務所借上、職員旅費、印刷・通信費、翻訳費 等）        |
| ・ 予備費        | 210 百万円                                     |
| 〕            |   |
| ②大会運営費       | 12.5 億円程度                                   |
| 〔            |   |
| ・ 大会運営費      | 1,000 百万円<br>（競技運営、開閉会式、競技資材、スタッフ、関連イベント 等） |
| ・ 交通対策費      | 250 百万円<br>（関係者移動、インフラ整備、会場補修 等）            |
| 〕            |   |

〔収入総額：28 億円程度〕

- |                                |        |
|--------------------------------|--------|
| ①大会参加料、物品販売                    | 7 億円程度 |
| ②開催府県市負担金                      | 7 億円程度 |
| ・ 開催競技参加者数等による按分を予定            |        |
| ③民間等                           | 7 億円程度 |
| ・ 企業協賛金のほか、民間スポーツ振興団体の助成制度等を活用 |        |
| ④公的補助                          | 7 億円程度 |
| ・ 新たな補助制度の創設を含めて要請             |        |

※上記のほか、宝くじの発行等を検討

(参考) 経済波及効果の試算

上記収支計画をもとに試算した経済波及効果は、約 140 億円

	項 目	金 額
直接効果	事業費	約 20 億円
	観光消費額	約 70 億円
	合計	約 90 億円
1 次波及効果	事業費	約 8 億円
	観光消費額	約 36 億円
	合計	約 44 億円
2 次波及効果		約 6 億円
合 計		約 140 億円

※スポーツコミッション関西による試算

※平成 17 年近畿地域産業連関表を使用(近畿経済産業局管内の経済波及効果)

※直接効果の事業費は、開催権利金 6.5 億円を除く事業費 21.5 億円のうち、域内需要額を試算

※直接効果の観光消費額は、大会参加者を競技者・同行者・家族を含め 6 万人とし、シドニー大会の事例を参考にした 1 人あたり消費額を使用して試算  
< 1 人あたり消費額 (参加人数) >

国内日帰り 44,941 円 (18,000 人)

国内宿泊 173,308 円 (12,000 人)

海外 283,081 円 (30,000 人)

※ 2 次波及効果は、直接効果と 1 次波及効果によって生み出された雇用者所得のうち消費に当てられた部分が新たに生み出す効果

## 7. 当面の主要な課題と対応

### (1) 開催競技・種別の検討

- ・ 競技開催会場や開閉会式会場等を選定する前提として、開催競技・種別を決めておく必要があることから、まずは I M G A と事前協議するための原案を策定する。
- ・ 神戸大学大学院の長ヶ原教授が作成した、16 のコア競技と 13 のオプション競技の試案をもとに、現在、幹事会において課題の有無等を検討中。
- ・ 今後は、市町村や競技団体などの意見も聞きながら原案を策定し、7月に開催を予定している準備委員会に原案を報告。I M G A との協議を開始する。

#### 〔コア競技〕※ I M G A から提示された必須競技 (16 競技)

- |            |            |
|------------|------------|
| ①アーチェリー    | ⑨オリエンテーリング |
| ②陸上競技      | ⑩ボート       |
| ③バドミントン    | ⑪射撃        |
| ④バスケットボール  | ⑫ソフトボール    |
| ⑤カヌー／カヤック  | ⑬スカッシュ     |
| ⑥自転車競技     | ⑭卓球        |
| ⑦フィールドホッケー | ⑮トライアスロン   |
| ⑧サッカー      | ⑯重量挙げ      |

#### 〔オプション競技 (案)〕※準備委員会で検討している選択競技案 (13 競技)

- |          |         |
|----------|---------|
| ①野球      | ⑧ラグビー   |
| ②ボウリング   | ⑨セーリング  |
| ③ダンススポーツ | ⑩水泳     |
| ④ゴルフ     | ⑪テニス    |
| ⑤ハンドボール  | ⑫綱引き    |
| ⑥柔道      | ⑬バレーボール |
| ⑦空手      |         |

## 開催競技・種別(試案)

\* 神戸大学大学院長ヶ原教授が、過去の大会実績や国内の競技人口等を参照して作成した試案であり、今後、関係府県市やIMGA事務局等の意見も踏まえながら、一定の案を作成していくもの。

### ■ コア競技

コア競技	目標参加者総数 (国外:国内)	種別	国外 参加者	国内 参加者	参加者数 (目標)	国内最多登録者数団体	国際統括団体
1 アーチェリー	400 (165:235)	フィールドアーチェリー	35	65	100	公益社団法人 全日本アーチェリー連盟	世界アーチェリー連盟
		ターゲットアーチェリー	130	170	300		
2 陸上競技	8,470 (2,940:5,530)	トラック&フィールド	880	1,120	2,000	公益財団法人 日本陸上競技連盟	国際陸上競技連盟
		マラソン	570	1,430	2,000		
		10k ロードレース	370	530	900		
		競歩(10&20km)	110	140	250		
		ハーフマラソン	620	1,380	2,000		
		クロスカントリー	280	440	720		
		駅伝	110	490	600		
3 バドミントン	1,400 (570:830)		570	830	1,400	公益財団法人 日本バドミントン協会	世界バドミントン連盟
4 バスケットボール	2,000 (750:1,250)		750	1,250	2,000	公益財団法人 日本バスケットボール協会	世界バスケットボール連盟
5 カヌー/カヤック	1,200 (410:790)	マラソン	210	390	600	公益社団法人 日本カヌー連盟	国際カヌー連盟
		スラローム	100	200	300		
		スプリント	100	200	300		
6 自転車競技	2,150 (725:1,425)	マウンテンバイク	175	375	550	日本マウンテンバイク協会 (日本自転車競技連盟加盟)	国際マウンテンバイク協会
		トラック	150	350	500	公益財団法人 日本自転車競技連盟	国際自転車競技連合
		ロードレース	400	700	1,100		
7 フィールドホッケー	900 (400:500)		400	500	900	公益社団法人 日本ホッケー協会	国際ホッケー連盟
8 サッカー	6,000 (2,620:3,380)	サッカー	1,650	1,850	3,500	公益財団法人 日本サッカー協会	国際サッカー連盟
		フットサル	970	1,530	2,500	一般財団法人日本フットサル連盟	
9 オリエンテーリング	1,500 (950:550)		950	550	1,500	公益社団法人 日本オリエンテーリング協会	国際オリエンテーリング連盟
10 ボート	3,500 (1,600:1,900)	レガッタ	900	900	1,800	公益社団法人 日本ボート協会	国際ボート連盟
		ドラゴンボート	700	1,000	1,700	一般社団法人 日本ドラゴンボート協会	国際ドラゴンボート連盟
11 射撃	850 (420:430)	ライフル射撃	110	120	230	公益社団法人 日本ライフル射撃協会	国際射撃連盟
		ピストル射撃	130	130	260		
		クレー射撃	180	180	360	社団法人 日本クレー射撃協会	
12 ソフトボール	2,500 (980:1,520)		980	1,520	2,500	公益財団法人 日本ソフトボール協会	国際ソフトボール連盟
13 スカッシュ	540 (270:270)		270	270	540	公益社団法人 日本スカッシュ協会	世界スカッシュ連盟
14 卓球	1,200 (470:730)		470	730	1,200	公益財団法人日本卓球協会	国際卓球連盟
15 トライアスロン	1,950 (850:1,100)	トライアスロン	550	700	1,250	公益社団法人 日本トライアスロン連合	国際トライアスロン連合
		デュアスロン	150	200	350		
		アクアスロン	150	200	350		
16 重量挙げ	440 (260:180)		260	180	440	日本ウエイトリフティング協会	国際ウエイトリフティング連盟
コア競技合計			14,380	20,620	35,000		

は過去WMG未実施競技・種別

## ■ オプション競技

オプション競技	目標参加者総数 (国外:国内)	種別	国外 参加者	国内 参加者	参加者数 (目標)	国内最多登録者数団体	国際統括団体
1 野球	2,500 (980:1,520)	硬式野球	700	700	1,400	全国高校野球OBクラブ連合	国際野球連盟
		軟式野球	280	820	1,100	公益財団法人 全日本軟式野球連盟	
2 ボウリング 10pin	900 (320:580)		320	580	900	公益財団法人 全日本ボウリング協会	国際ボウリング連盟
3 ダンススポーツ	850 (380:470)	競技ダンス	210	240	450	公益社団法人 日本ダンススポーツ連盟	世界ダンススポーツ連盟
		エアロビクス	170	230	400	公益社団法人 日本エアロビクス連盟	国際エアロビクス連盟
4 ゴルフ	1,550 (430:1,120)	ゴルフ	350	550	900	公益財団法人 日本ゴルフ協会	国際ゴルフ連盟
		グラウンドゴルフ	80	570	650	公益社団法人 日本グラウンド・ゴルフ協会	公益社団法人日本グラウンド・ ゴルフ協会(国内団体のみ)
5 ハンドボール	800 (380:420)		380	420	800	公益財団法人 日本ハンドボール協会	国際ハンドボール連盟
6 柔道	500 (170:330)		170	330	500	公益財団法人 全日本柔道連盟	国際柔道連盟
7 空手	200 (60:140)		60	140	200	公益財団法人 全日本空手道連盟	世界空手連盟
8 ラグビー	900 (370:530)		370	530	900	財団法人 日本ラグビーフットボール協会	国際ラグビー評議会
9 セーリング	400 (120:280)	ヨット	90	210	300	公益財団法人 日本セーリング連盟	国際セーリング連盟
		ウインドサーフィン	30	70	100	特定非営利活動法人 日本ウインドサーフィン連盟(日本 セーリング連盟加盟)	国際ウインドサーフィン協会
10 水泳	2,700 (1,160:1,540)	競泳	800	1,100	1,900	一般社団法人 日本マスターズ水泳協会	国際水泳連盟
		飛び込み	30	70	100		
		水球	100	120	220		
		シンクロナイズドスイミング	80	100	180		
		オープンウォーター	150	150	300		
11 テニス	1,530 (550:980)	硬式テニス	460	640	1,100	公益財団法人 日本テニス協会	国際テニス連盟
		ソフトテニス	90	340	430	公益財団法人 日本ソフトテニス連盟	世界ソフトテニス連盟
12 綱引き	220 (80:140)		80	140	220	公益社団法人 日本綱引連盟	国際綱引連盟
13 バレーボール	1,950 (820:1,130)	インドア	670	930	1,600	公益財団法人 日本バレーボール協会	国際バレーボール連盟
		ビーチ	150	200	350	日本ビーチバレー連盟 (日本バレーボール協会加盟)	
オプション競技合計			5,820	9,180	15,000		
参加者合計			20,200	29,800	50,000		

## (2) 開催地契約書の検討

- ・ 昨年11月にIMG Aと締結した基本合意書で、2014年中に開催地契約書を締結することとしている。
- ・ 現在、幹事会では、IMG A事務局が作成した開催地契約書原案をもとに、課題等を整理しているところであり、今後は各課題への対応方針を検討する。
- ・ 次回準備委員会（3月を予定）において、主な課題への対応方針を含め、開催地契約書原案の基本事項を報告する予定である。

### [大会開催における組織委員会及びIMG Aの主な責務]

(2017年立候補ガイドラインより抜粋)

#### ○主催都市組織委員会の責務

- ・ 可能な限り高水準な国際総合スポーツイベントの企画、組織、開催
- ・ 競技プログラムの企画、大会会場及び施設の確保
- ・ マーケティングと促進戦略の推進
- ・ 公式式典の準備と実施
- ・ 社会的、文化的プログラムの導入
- ・ 国や関係自治体、国際競技団体との密な連携と、進捗状況の報告
- ・ 開催地契約書に沿ったIMG A負担金の納付
- ・ 参加選手やボランティア、専門職員、理事会メンバーに対する法的保護
- ・ 全世界に対する大会参加の呼びかけ
- ・ 前回大会（オークランド大会）から関西大会までの間の、毎年のIMG A理事会の開催と、技術専門家の受入 等

#### ○主催都市に対するIMG Aの責務

- ・ 国際または国内競技団体とのコミュニケーションや支援の強化
- ・ 開催競技及び競技プログラムの承認
- ・ 開催競技がガイドラインを遵守して準備、実施されていることの確認
- ・ 主催都市へのアドバイスと、大会の質を確保するための連帯的な努力
- ・ 競技に関してゲーム中に生じる、あらゆる論争での仲裁役
- ・ 開閉会式、記者会見、セミナー、会議等への参加
- ・ 組織委員会や参加自治体から招待を受けた場合の会合への出席
- ・ 大会開催中に現地で行われるIMG A理事会への出席 等

### (3) 組織委員会設立方針の検討

- ・ 組織委員会に関しては、基本合意書で、2014年9月末までに組織委員会を設置することとしている。
- ・ 現在、幹事会では、次回準備委員会での協議を目指し、組織委員会の法人形態や内部組織の種類、構成等について検討に着手した。
- ・ 設立方針の決定後（4月以降）、委員候補者への説明・参画依頼を行うとともに、法人化する場合は、その取得手続を進めていく予定。

#### 〔組織概要素案〕

名誉総裁	}	宮家、政財界要人等へ就任を要請
総 裁		
名誉会長		
顧 問		関係国会議員、文部科学大臣等関係省庁の長、 日本オリンピック委員会会長、日本体育協会会長
会 長	}	広域連合、開催府県市、経済団体、体育団体等
副 会 長		
委 員		

### (4) 広報活動と企業協賛プログラム

- ・ 関西ワールドマスタースゲームズ 2021 の認知度を高め、より多くの参加者を確保するとともに、関西、全国の企業の協賛を得て大会を成功に導くため、平成25年度から33年度までの8年間で3期間に分け、計画的、積極的な広報活動と企業協賛プログラムを展開する。

#### 〔第1期：H25～28〕ワールドマスタースゲームズの浸透期間

- ・ メジャーパートナーとして関西の有力企業10社程度の協賛を期待
- ・ パートナーとして関西の有力企業30社以上の協賛を期待
- ・ 他地域本社企業、外資、飲食店、旅行業の協賛は第2期を検討
- ・ スポーツ用品メーカー等の協賛については第1期中に順次拡大

##### (主な広報活動)

広域連合委員会でのPR媒体掲示、公共施設へのPR媒体掲示、ホームページ開設・運営、公式パンフレットの作成、公式印刷物でのPR等

#### 〔第2期：H29～32〕主要国際マスタース大会や国内大会でのPR期間

- ・ 各パートナー階層の再選定

##### (主な広報活動)

オークランド大会やヨーロッパマスタース大会等へのブース出展、スタッフユニフォームの作成、公式イベントでのPR等

#### 〔第3期：H33〕関西大会の告知・運営を通じた最も強力な広告期間

##### (主な広報活動)

大会告知イベントの開催、競技会場やゼッケンへのロゴ表示、スポンサービレッジ出展、公式レセプションへの出席等

## 8. 関西版マスターズの創設

### (1) 開催目的

関西ワールドマスターズゲームズ 2021 の開催に向け、関西全域における生涯スポーツの気運醸成を図る。

### (2) 大会名称

「関西マスターズスポーツフェスティバル」

※この後に、「〇〇マスターズ競技大会」などの各大会名が入る

### (3) 開催方式

創設初年度である平成 26 年度は、各府県市で開催している生涯スポーツ大会等に冠を付ける方式で実施。

### (4) 今後のスケジュール

- ・平成 26 年 3 月 1 日 連合委員会において府県市ごとの開催大会名を報告
- ・平成 26 年 4 月 実行委員会設置（関西WMG2021 組織委員会の設置後は、事務局機能を統合）

## 9. 主な想定スケジュール

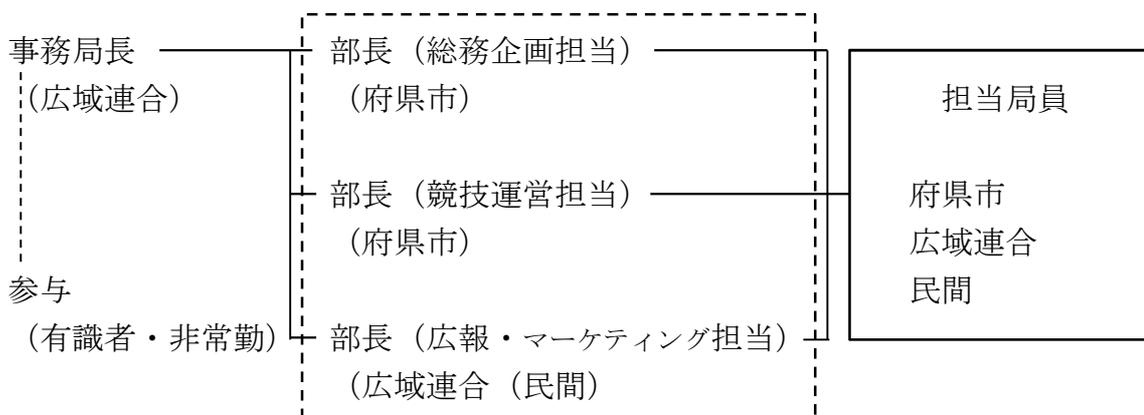
- ・平成 26 年 4 月 準備委員会の専任事務局設置  
関西版マスターズ「関西マスターズスポーツフェスティバル」創設
  - ・平成 26 年 9 月 組織委員会の設立（準備委員会を改組）
  - ・平成 26 年 12 月 開催地契約書の締結
- ～想定スケジュール～
- ・平成 26 年 ～ 基本構想、基本計画、競技別実施計画の策定  
地区別（競技別）実行委員会設立 等
  - ・平成 29 年 オークランド大会開催（関西大会のPR）
  - ・平成 32 年 東京オリンピック・パラリンピック開催
  - ・平成 33 年 関西ワールドマスターズゲームズ 2021 開催

## 10. 準備委員会事務局の26年度組織体制

- ・平成26年4月1日付で準備委員会に専任事務局を設置し、準備行程立ち上げ期に必要な重要課題への対応に万全を期す。
- ・部門ごとに部長を置き対外交渉等にあたるとともに、局内においては部長全員が事務局全体の業務に関わり、一体となって事務を遂行する。
- ・事務所は関西広域連合本部事務局に隣接して確保し、密接な連携のもとで、効果的、効率的な準備を進める。

組織体制（案）【調整中。今後変更の可能性あり。】

\*行政、民間合わせて10名程度。



## 11. 準備委員会事務局の平成26年度収支予算案

〔支出：133,395千円〕※専任職員の人件費を除く

- (1) 大会開催準備費 (97,895千円)
  - ・ I M G A負担金 . . . . . 66,500千円
  - ・ ムーブメント事業費 . . . . . 4,000千円  
(国内競技大会でのブース設置、PR等)
  - ・ 事務局経費 . . . . . 27,395千円
- (2) マーケティング費 (7,000千円)
  - ・ 海外で開催される国際マスターズ大会や各種競技会での視察とPR活動
- (3) 広告宣伝費 (8,500千円)
  - ・ ホームページ運営、ポスター作成 等
- (4) 予備費 (20,000千円)

〔収入：137,500千円〕

- (1) 開催府県市負担金 (112,500千円)
  - ・ 12,500千円×9府県市
- (2) 民間企業協賛金 (25,000千円)

※収入超過分については翌年度以降の経費として積み立て。